

---

## カンジダによるカテーテル関連血流感染症の検討

---

カンジダはカテーテル感染の原因菌として 1 番目に多く、敗血症を生じ、カテーテル関連血流感染症をきたすことがあるため、すみやかな治療が必要とされています。本研究ではカンジダによりカテーテル関連血流感染症を生じた患者さんの臨床背景を調査し、早期の診断に役立つ検査値を明らかにします。

---

本研究をカンジダによるカテーテル関連血流感染症に早期診断、早期治療に役立てます。

---

2015 年 11 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までの 6 年間で、中心静脈カテーテル検体からカンジダが分離された成人の入院患者さんを対象に、血清  $\beta$  -グルカン値、広域抗菌薬の投与歴などを調査します。

---

帝京大学医学部附属溝口病院第四内科

---

匿名化し個人情報を保護します。研究終了後は臨床研究センターにて 10 年間保管の後に廃棄します。

